

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「GSビッグデータ・ストラテジー(欧州株)Aコース(為替ヘッジあり)／Bコース(為替ヘッジなし)」は、このたび、第5期の決算を行いました。本ファンドは、欧州の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI(人工知能)を活用した独自開発の計量モデルを用いて多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

Aコース(為替ヘッジあり)

第5期末(2020年3月16日)		第5期	
基準価額	7,898円	騰落率	-20.22%
純資産総額	38百万円	分配金合計	0円

Bコース(為替ヘッジなし)

第5期末(2020年3月16日)		第5期	
基準価額	7,069円	騰落率	-21.25%
純資産総額	153百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

**GSビッグデータ・ストラテジー
(欧州株)**

Aコース(為替ヘッジあり)

Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式

第5期(決算日2020年3月16日)

作成対象期間:2019年9月18日～2020年3月16日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先: 03-6437-6000(代表)

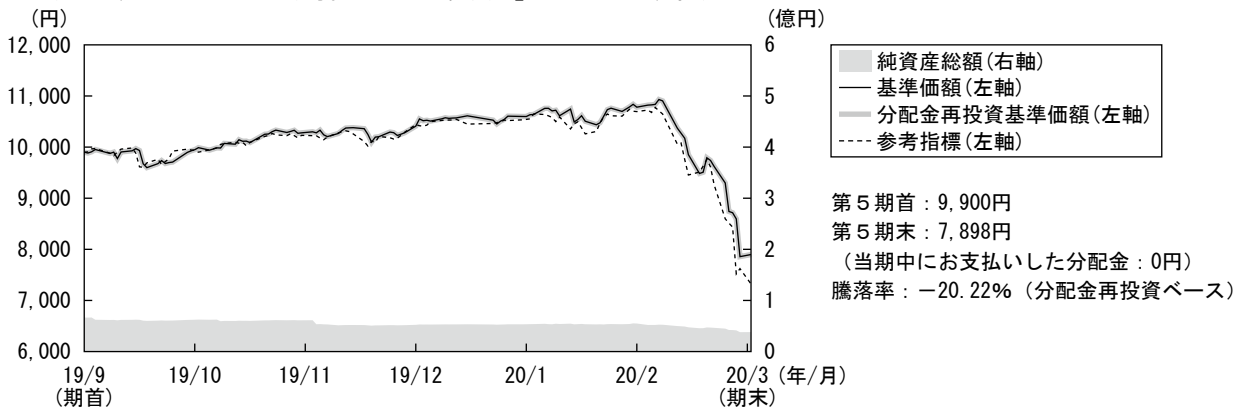
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2019年9月18日～2020年3月16日）

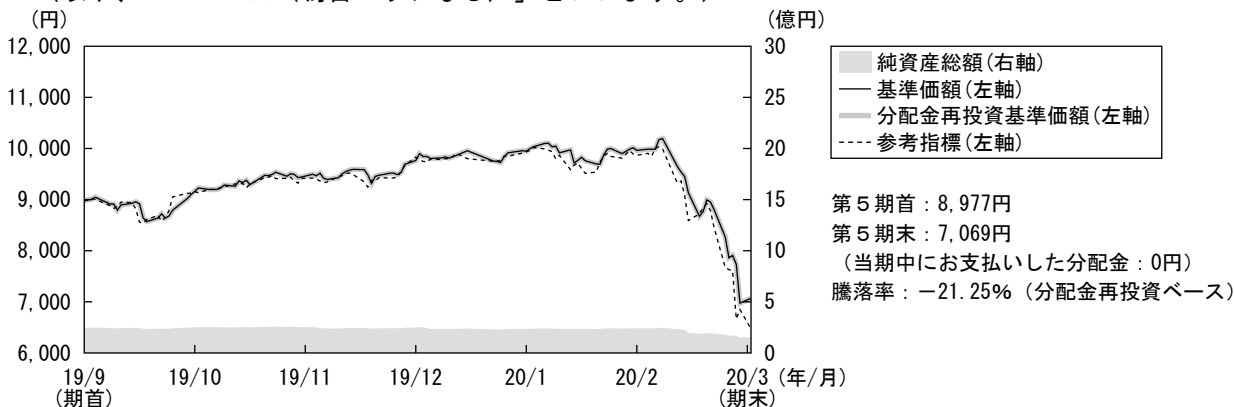
○GSビッグデータ・ストラテジー（欧州株）Aコース（為替ヘッジあり）

（以下、「Aコース（為替ヘッジあり）」といいます。）



○GSビッグデータ・ストラテジー（欧州株）Bコース（為替ヘッジなし）

（以下、「Bコース（為替ヘッジなし）」といいます。）



(注1) 参考指標は、Aコース（為替ヘッジあり）はMSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・ベース）、Bコース（為替ヘッジなし）はMSCIヨーロッパ・インデックス（配当込み、円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

- Aコース（為替ヘッジあり）の基準価額は、期首の9,900円から2,002円下落し、期末には7,898円となりました。
 - Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額は、期首の8,977円から1,908円下落し、期末には7,069円となりました。
- （以下、2ファンドを総称して「本ファンド」といいます。）

上昇要因

エネルギーや公益を中心に銘柄選択効果がプラス寄与になったことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

欧州株式市場（現地通貨ベース）が大幅に下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。また、スイスやスペインを中心に国別配分効果がマイナス寄与となったことも、基準価額の下落要因となりました。Bコース（為替ヘッジなし）においては、英ポンドやスウェーデン・クローナなどが円に対して下落したことも基準価額の下落要因となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資ベース）

ファンド名	騰落率 (ユーロベース)	騰落率 (円換算ベース)
ゴールドマン・サックス・ヨーロッパ COREエクイティ・ポートフォリオ* ¹	-21.56%	-21.68%
ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド* ²	-0.23%	-0.39%

（注）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- *1 ルクセンブルク籍外国投資証券（ユーロ建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. - ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス
- *2 アイルランド籍外国投資証券（ユーロ建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー-ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド X アキュムレーション・クラス

■ 1万口当たりの費用明細

○Aコース（為替ヘッジあり）

項目	当期		項目の概要
	2019年9月18日～2020年3月16日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社）	68円 (33)	0.666% (0.326)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
（販売会社）	(33)	(0.326)	
（受託会社）	(1)	(0.014)	
その他費用 （保管費用） （監査費用）	9 (4) (5)	0.084 (0.035) (0.050)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	77	0.750	

期中の平均基準価額は10,232円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

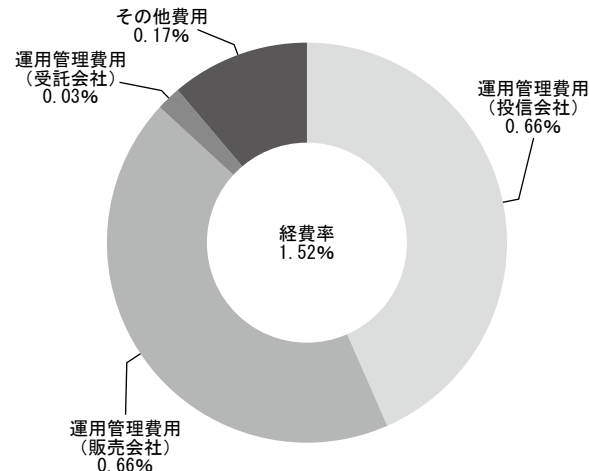
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

■ 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.52%です。



経費率 (①+②)	1.52%
①このファンドの費用の比率	1.52%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	-%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 1万口当たりの費用明細

○Bコース（為替ヘッジなし）

項目	当期		項目の概要
	2019年9月18日～2020年3月16日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	63円 (31)	0.666% (0.326)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种種類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(31)	(0.326)	
(受託会社)	(1)	(0.014)	
その他費用 (保管費用)	5 (1)	0.057 (0.007)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(4)	(0.042)	
(その他)	(1)	(0.008)	
合計	68	0.723	

期中の平均基準価額は9,457円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

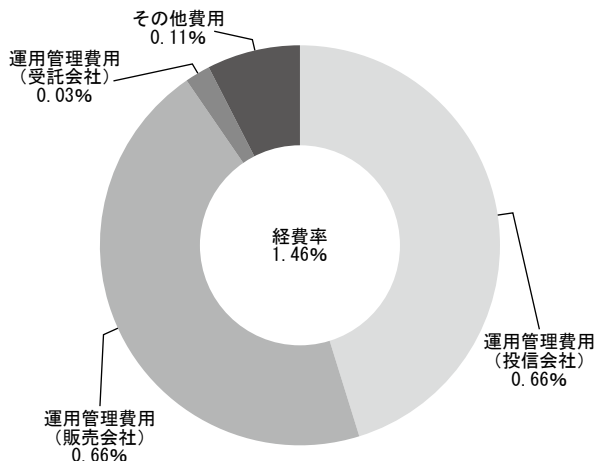
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■ 経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.46%です。



経費率 (①+②)	1.46%
①このファンドの費用の比率	1.46%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	-%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

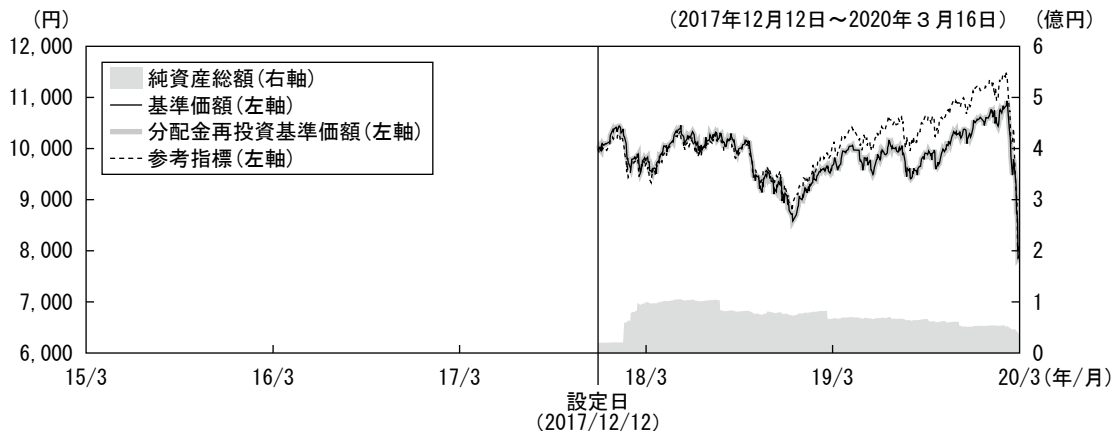
(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

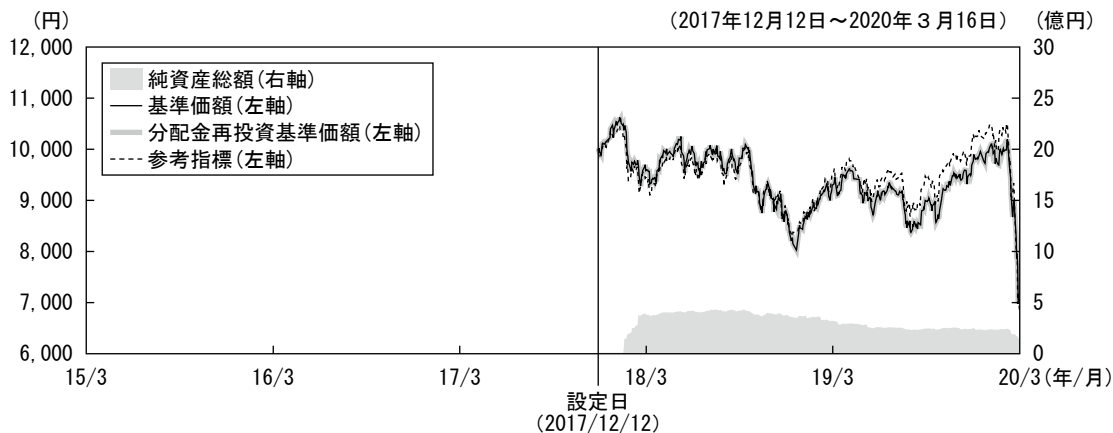
(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

○Aコース（為替ヘッジあり）



○Bコース（為替ヘッジなし）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、設定日（2017年12月12日）の基準価額を起点として指数化しています。

■ 最近5年間の年間騰落率

○Aコース（為替ヘッジあり）

	2017/12/12 設定日	2018/3/15 決算日	2019/3/15 決算日	2020/3/16 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	9,754	9,663	7,898
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	-2.46%	-0.93%	-18.27%
参考指標騰落率	—	-3.14%	3.62%	-22.26%
純資産総額（百万円）	20	98	67	38

○Bコース（為替ヘッジなし）

	2017/12/12 設定日	2018/3/15 決算日	2019/3/15 決算日	2020/3/16 決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	9,584	9,297	7,069
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	-4.16%	-2.99%	-23.96%
参考指標騰落率	—	-5.55%	0.97%	-28.96%
純資産総額（百万円）	10	389	323	153

（注）設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

■ 投資環境について

<欧州株式市場>

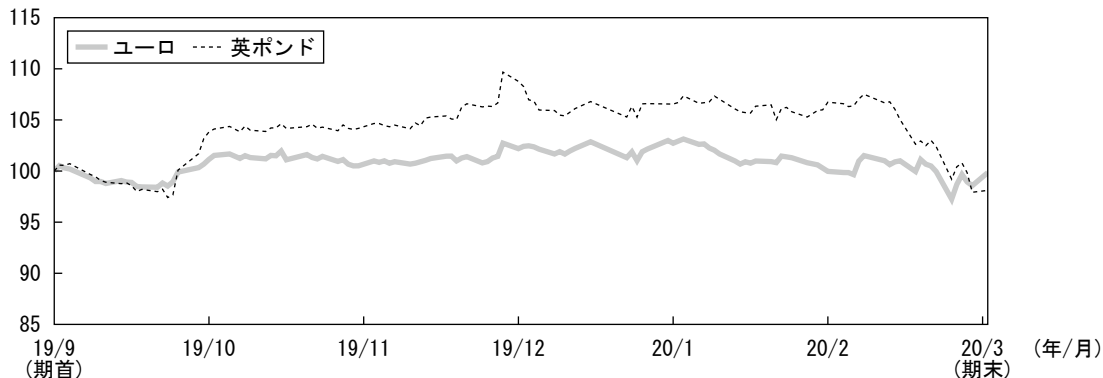
当期の欧州株式市場は大幅に下落しました。

米中閣僚級通商協議において両国が部分合意に至ったことなどを受けて、米中通商問題の解決に向けての進展期待が高まったことや、英国の総選挙で与党保守党が議席の過半数を獲得し、EU（欧州連合）からの合意なき離脱の可能性が低下したことなどを背景に、投資家のリスク選好が強まり、期初から概ね上昇基調が継続しました。2020年2月下旬に入り、新型コロナウイルスの感染が中国をはじめとするアジアだけでなく中東や欧州にも広がり、米国でもCDC（米疾病対策センター）が国内の感染拡大は時間の問題との見解を公表したことなどから、世界的な感染拡大への警戒感が急速に高まり下落に転じました。その後も、新型コロナウイルスの感染拡大により、企業の生産活動や個人消費をはじめ、世界経済の減速懸念が強まったことや、原油価格が大幅に下落したことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まり、下落幅が拡大した結果、前期末を大幅に下回る水準で期を終えました。

<外国為替市場>

当期の外国為替市場では、英ポンドは対円で下落、ユーロは対円で前期末とほぼ同水準となりました。

○為替レート（対円）の推移



(注) 各通貨は期首を100として指数化しています。

出所：一般社団法人投資信託協会

<短期金融市場>

当期において、1ヵ月物ユーロLIBOR（ロンドン銀行間取引金利）は前期末の-0.50%程度から-0.53%程度まで低下して期末を迎えました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオを概ね高位に組入れることで、欧州の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざしました。

<ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ>

欧州の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざしました。

当期においては、国別配分効果がマイナス寄与となった一方、銘柄選択効果はプラス寄与となりました。国別配分効果は、スイスやスペインなどがマイナス寄与となりました。銘柄選択効果は、エネルギーや公益などがプラス寄与となりました。また、当運用では、最新のビッグデータや伝統的な市場・業績データ等をもとに、モメンタム（Momentum）・バリュー（Value）・収益性（Profitability）の投資テーマを通じた評価基準（MVPモデル）に基づき、投資魅力度を総合的に評価していますが、当期は、「バリュー」がマイナス寄与となった一方、「収益性」と「モメンタム」はプラス寄与となりました。

<ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド>

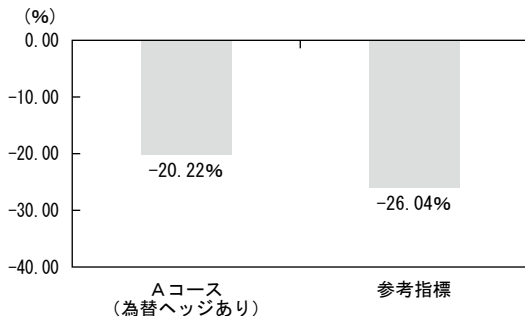
主としてユーロ建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、ユーロベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

■ ベンチマークとの差異について

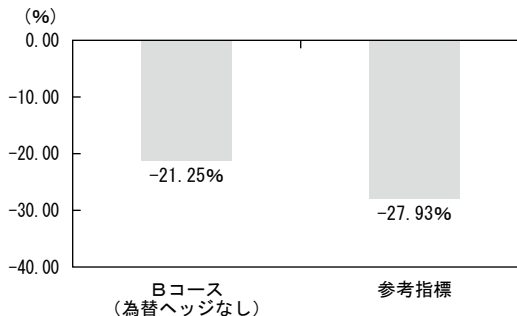
本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>

○Aコース（為替ヘッジあり）



○Bコース（為替ヘッジなし）



（注）各コースの基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期のAコース（為替ヘッジあり）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、-20.22%となった一方、参考指標のパフォーマンスは-26.04%となりました。Bコース（為替ヘッジなし）のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、-21.25%となった一方、参考指標のパフォーマンスは-27.93%となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期は、Aコース（為替ヘッジあり）およびBコース（為替ヘッジなし）の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

○Aコース（為替ヘッジあり）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 5 期
	2019年9月18日～2020年3月16日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

○Bコース（為替ヘッジなし）

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項 目	第 5 期
	2019年9月18日～2020年3月16日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き、ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、期を通じてゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオを高位に組入れ、欧州の株式に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。また、Aコース（為替ヘッジあり）では対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減をめざします。

<ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ>

欧州の株式を主な投資対象とし、ビッグデータやAI（人工知能）を活用したゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自開発の計量モデルを用い、多様な銘柄評価基準に基づいて幅広い銘柄に分散投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。

<ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド>

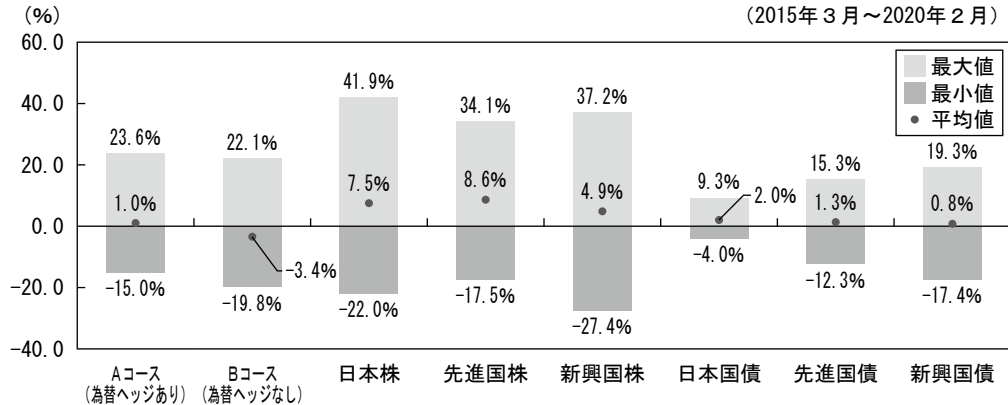
今後も主としてユーロ建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、ユーロベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2028年3月15日まで
運用方針	主として欧州の株式を主要投資対象とし、計量分析を用いて投資対象のリターン予測を行うと同時にポートフォリオのリスク・リターン特性の最適化プロセスを経ることによりリスク管理を行う投資信託証券への投資を通じ、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ ・アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	欧州の株式
指定投資信託証券②	ユーロ建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、Aコースでは、原則として対円での為替ヘッジを行い、Bコースでは、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年3月15日および9月15日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

（参考情報）

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2015年3月から2020年2月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、1年騰落率は各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定日（2017年12月12日）から1年後の2018年12月以降のデータを表示しています。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2020年3月16日現在）

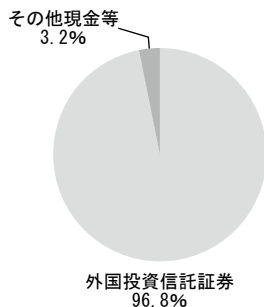
< Aコース（為替ヘッジあり） >

○ 組入れファンド

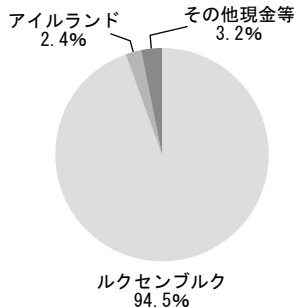
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・ヨーロッパ COREエクイティ・ポートフォリオ	94.5%
ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド	2.4%

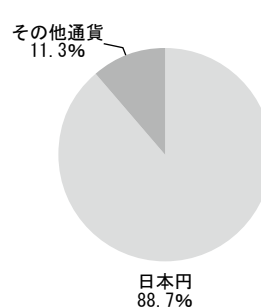
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



（注）上記の比率は全てAコース（為替ヘッジあり）の純資産総額に対する割合です。

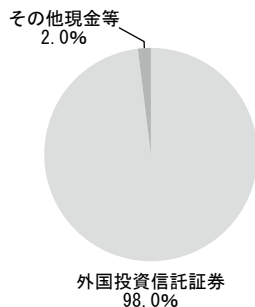
< Bコース（為替ヘッジなし） >

○ 組入れファンド

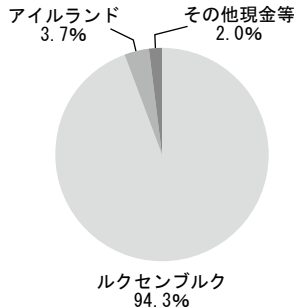
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・ヨーロッパ COREエクイティ・ポートフォリオ	94.3%
ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド	3.7%

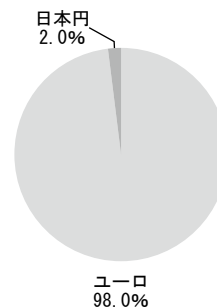
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



（注）上記の比率は全てBコース（為替ヘッジなし）の純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

○Aコース（為替ヘッジあり）

項目	第5期末
	2020年3月16日
純資産総額	38,121,383円
受益権総口数	48,265,021口
1万口当たり基準価額	7,898円

（注）期首元本額は67,206,085円、当作成期間中において、追加設定元本額は2,778,791円、同解約元本額は21,719,855円です。

○Bコース（為替ヘッジなし）

項目	第5期末
	2020年3月16日
純資産総額	153,558,299円
受益権総口数	217,237,399口
1万口当たり基準価額	7,069円

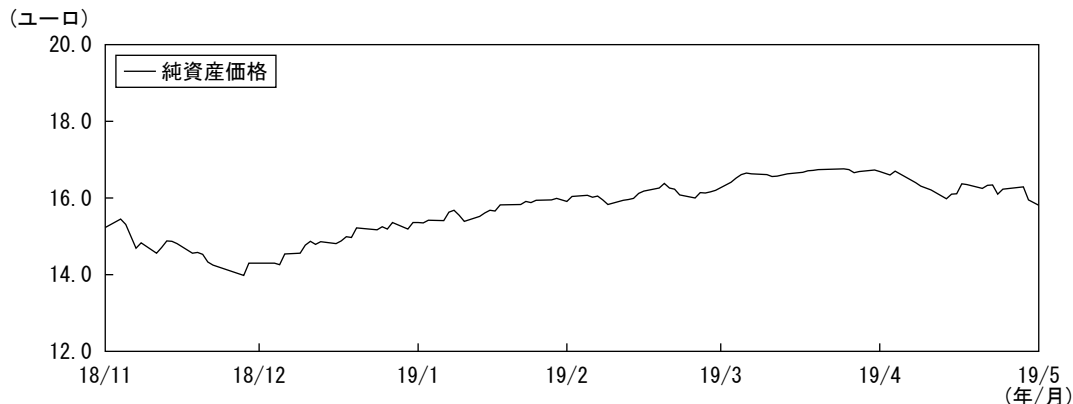
（注）期首元本額は274,153,568円、当作成期間中において、追加設定元本額は13,650,409円、同解約元本額は70,566,578円です。

■ 組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・ヨーロッパCOREエクイティ・ポートフォリオ>（2019年5月31日現在）

*組入れファンドの決算は、年1回（毎年11月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2019年5月31日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について（2018年12月1日～2019年5月31日）



○費用明細（単位：ユーロ）

費用	
当座借越支払利息	101,781
スワップ契約を除く支払利息	7,458
有価証券貸付にかかる手数料	104,936
投資顧問報酬	9,377,602
保管費用	288,372
管理事務代行報酬	193,688
販売報酬およびサービシング報酬	521,729
名義書換事務代行報酬	78,649
年次税	308,141
監査報酬	4,704
管理会社報酬	262,418
取締役報酬	10,152
弁護士報酬	15,585
保険費用	3,539
印刷費用	26,222
出版費用	3,468
税務報告報酬	16,101
支払代理人報酬	17,697
規制報告報酬	18,601
その他費用	61,289
	<hr/>
	11,422,132
費用合計	<hr/>
	11,422,132

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2018年12月1日から2019年5月31日までのものです。

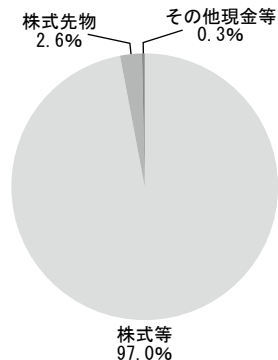
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

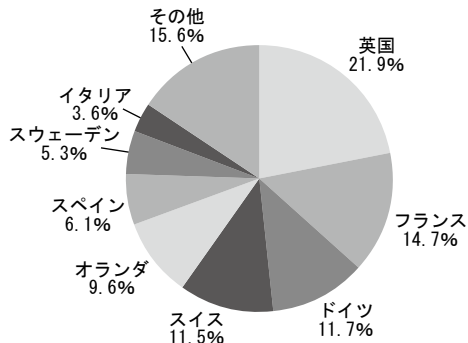
（組入銘柄数：177銘柄）

	銘柄	国	比率
1	ロシュ・ホールディング	スイス	3.0%
2	ディアジオ	英国	2.3%
3	アディダス	ドイツ	1.9%
4	エア・リキード	フランス	1.6%
5	BNPパリバ	フランス	1.5%
6	ネスレ	スイス	1.5%
7	シュナイダーエレクトリック	フランス	1.5%
8	ケリング	フランス	1.5%
9	ASMLホールディング	オランダ	1.5%
10	ロイズ・バンキング・グループ	英国	1.5%

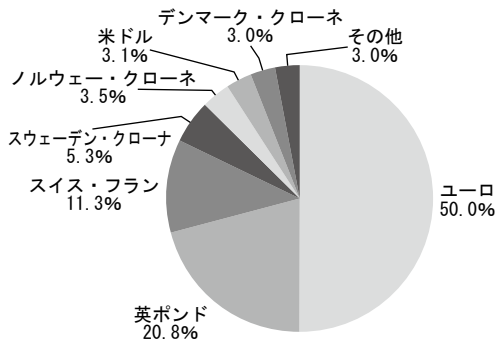
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

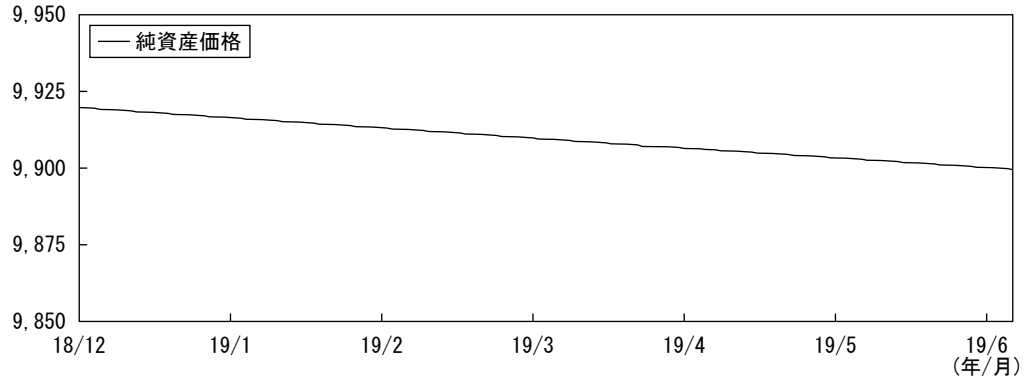
*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックス・ユーロ・リキッド・リザーブズ・ファンド>（2019年6月30日現在）

*組入れファンドの決算は、年1回（毎年12月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2019年6月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について（2019年1月1日～2019年6月30日）

(ユーロ)



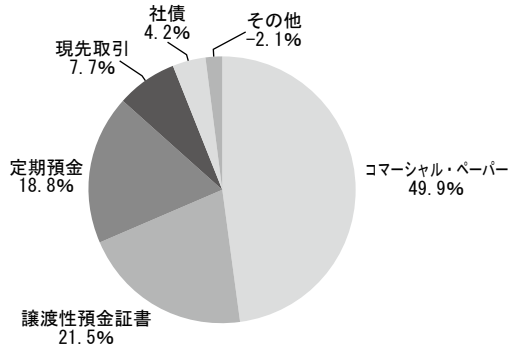
○費用明細（単位：ユーロ）

費用	
投資顧問報酬	7,972,768
管理会社報酬	438,653
管理事務代行報酬	150,794
保管費用	410,308
販売報酬	890
名義書換事務代行報酬	121,087
監査報酬	7,150
取締役報酬	2,589
弁護士報酬	7,434
保険費用	21,581
印刷費用	10,817
その他費用	88,651
費用合計	9,232,722
投資顧問報酬調整額	(4,886,272)
運用費用合計	4,346,450

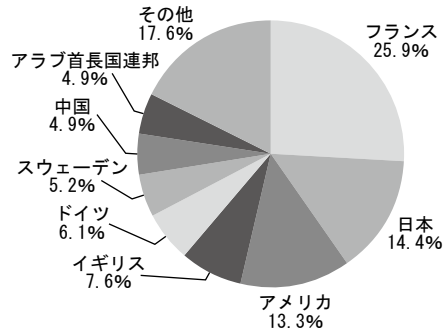
(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2019年1月1日から2019年6月30日までのものです。

(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

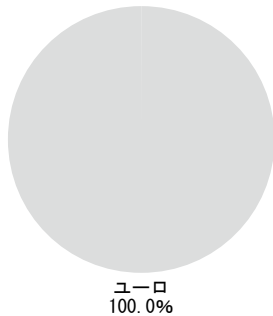
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

（組入銘柄数：174銘柄）

	銘柄	種別	通貨	比率
1	National Bank of Abu Dhabi	定期預金	ユーロ	4.9%
2	Bank of China Ltd	定期預金	ユーロ	4.0%
3	Mizuho Bank Ltd	定期預金	ユーロ	4.0%
4	BNP Paribas Repo	現先取引	ユーロ	3.1%
5	Qatar National Bank SAQ	譲渡性預金証書	ユーロ	2.3%
6	Scotiabank Europe Plc Repo	現先取引	ユーロ	2.3%
7	Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Ltd	定期預金	ユーロ	2.2%
8	Bred Banque Populaire	定期預金	ユーロ	1.9%
9	Scotiabank Europe Plc Repo	現先取引	ユーロ	1.7%
10	LMA SA	コマーシャル・ペーパー	ユーロ	1.3%

（注）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。